



西条市立西条図書館ヤングアダルトコーナーフェア案内

# YAおすすめ本 2021年7月 フェアテーマ 『読み比べ』



ヤングアダルトコーナーには欠かせない、ヤングアダルト向きの本を書かれている作家さんは数多くいらっしゃいますが、作品ごとに全く作風の違う作品でびっくりする事もあります。それはきっと、こんな作品が好き！例えばSFだったり、ファンタジーだったり、ミステリだったり、純文学的なものだったり、好みの違う方々にも広く受け入れてもらえるよう、色々な作風で創作されているからではないでしょうか？どうぞ読み比べてみて、自分の好きなジャンルや作風はどんなものか、自分にあう小説を見つけてみてください。

## 西条市立西条図書館

住所：西条市大町1590

TEL0897-56-2668

開館時間9：30a.m.~20：30p.m.



## 7月フェア『読み比べ』おススメ本をご紹介

著者紹介 石川宏千花（いしかわ・ひろちか）

女子美術大学芸術学部卒業。「ユリエルとグレン」で講談社児童文学新人賞佳作、日本児童文学者協会新人賞受賞。ほかの作品に「お面屋たまよし」など。



『青春ノ帝国』 石川 宏千花 あすなろ書房

2020. 6 913/イ

たとえどんなに離れていても、たとえずっと会わずにいても、わたしたちはいつまでもともにありつづける…。坂の上の古ぼけた一軒家。その不思議な塾が、「たったひとつの希望」だった〈私〉のストーリー。



『メイドイン十四歳』石川 宏千花 講談社

2020. 11 913/イ

ナチュラルボーン優等生が、透明人間となかよく学校生活!? 進学校に通う中2の吉留藍堂はクラスでいちばんの優等生。ある日、透明人間の転校生の案内係を頼まれてから、クラス内で微妙な立場がくずれてしまい…!?



『見た目レンタルショップ 化けの皮』石川 宏千花 小学館

2020. 11 913/イ

見た目を変えたい。その願い、狐たちが叶えてくれます-。狐を使役する一族の末裔である主人公と狐たちが営むレンタルショップを舞台にした、〈見た目〉をめぐる物語。『読売中高生新聞』連載を加筆・修正し単行本化。



## 7月フェア『読み比べ』おススメ本をご紹介

額賀 澪 (ぬかが・みお)

1990 年生まれ。茨城県出身。日本大学芸術学部文芸学科卒。2015 年「屋上のウインドノーツ」で松本清張賞、「ヒトリコ」で小学館文庫小説賞を受賞しデビュー。他の著書に「競歩王」など。



### 『風に恋う』

額賀 澪 文藝春秋 913. 6/又 2018. 7

かつては全国大会連続金賞だったが、現在は見る影もない名門高校吹奏楽部に、黄金時代の部長がコーチとして戻ってきた。そして1年生の基を部長に任命し…。はたして全国大会への切符を手にすることはできるのか！？



### 『沖晴くんの涙を殺して』

額賀 澪 双葉社 913. 6/又 2020. 9

大津波で家族を喪った沖晴は、死神に悲しみ、怒り、嫌悪、恐怖を差し出して、独り海から生還する。残された感情は喜びだけ。笑うだけの沖晴は、余命わずかの音楽教師・京香と出会い…。『小説推理』連載を加筆し書籍化。



### 『イシイカナコが笑うなら』

額賀 澪 KADOKAWA 913. 6/又 2019. 3

仮面ダメ教師の菅野は、かつての同級生の幽霊「イシイカナコ」に遭遇。過去へ戻って人生をやり直そうとするが、カナコには別の思惑があって…。屈託を抱えた大人のための成長小説。『文芸カドカワ』連載を加筆し書籍化。



## 7月フェア『読み比べ』おススメ本をご紹介

相沢沙呼（あいざわ・さこ）

1983 年埼玉県生まれ。「午前零時のサンドリヨン」で鮎川哲也賞を受賞デビュー。ほかの著書に「マツリカ・マトリヨシカ」「小説の神様」など。



『午前零時のサンドリヨン』 相沢 沙呼 東京創元社

2009. 10 913. 6/A/1

須川くんが一目惚れしたクラスメイトの酉乃初は、放課後にレストラン・バーでマジックを披露する凄腕マジシャン。彼女は須川くんたちが巻き込まれる不思議な事件をマジックテクニックを駆使して鮮やかに解決する!

こちらはシリーズ第二弾もります。是非読んでください。



『雨の降る日は学校に行かない』 相沢 沙呼 集英社

2014. 3 913. 6/A

昼下がりの保健室は教室に居場所のないサエとナツのささやかな楽園だった。けれどサエが突然「自分のクラスに戻る」と言い出して…。中学生の憂鬱とかすかな希望を描き出す連作短編集。『小説すばる』掲載を単行本化。



『教室に並んだ背表紙』 相沢 沙呼 集英社 2020. 12  
913. 6/A

わたしは欠陥品なのかもしれない。中学校の“図書室”を舞台に、ままならない思春期の友人関係や未来への漠然とした不安、揺れる心模様を繊細に描く、全6編の連作短編集。『小説すばる』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

